



A=できている

B=どちらかといえばできている

C=どちらかといえばできていない

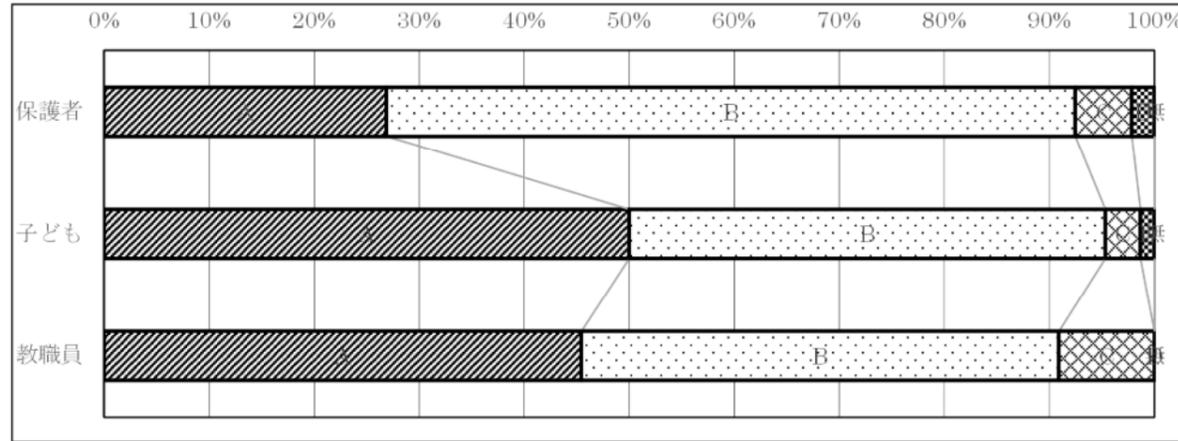
D=できていない

無=無答

暖かな日が増え、春の訪れを感じる日々となりました。子どもたちの学校生活を生き生きと楽しいものにするため、また今後の学校改善に役立てるために、10月にアンケートを実施し、保護者の皆様からご意見をいただきました。いただいたご意見を謙虚に受け止め、学校運営に活かしてまいります。アンケート結果につきまして、内容の似た項目について保護者・子ども・教職員三者がどのように違うのか、あるいは似通っているのかを紹介させていただきます。

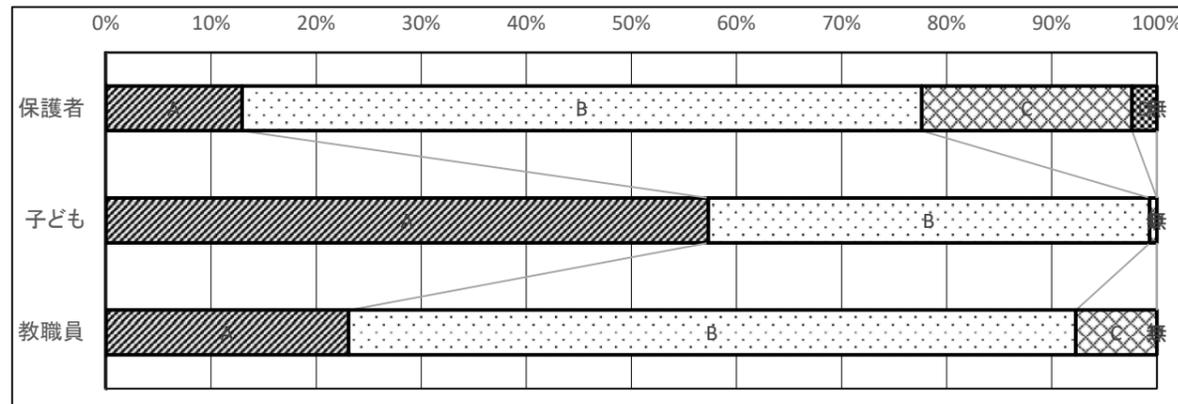
また、昨年度から Microsoft Forms でご回答いただくというシステムを導入しています。今後もこの方式を続けていきたいと考えていますので、ご理解のほどよろしくをお願いします。

- ① 子どもは学習内容がわかり力をつけている。
(保護者)
毎日の授業はよくわかる。(児童)
教材研究・教材作成に努め、一人一人に
分かる授業を工夫している。(教職員)



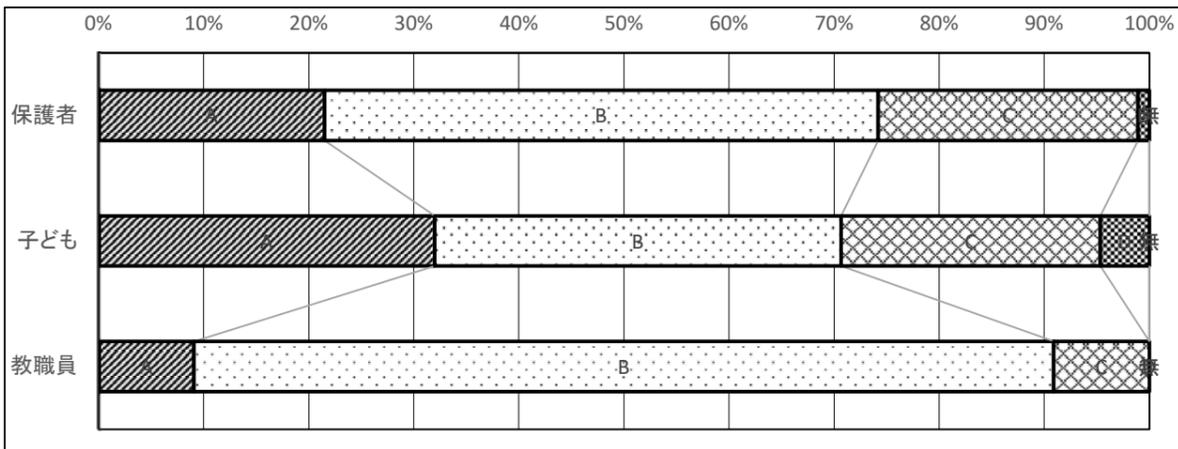
前期と比べて、児童の数値がやや上がっています。これにはいくつかの要因が考えられます。教材研究の成果としての授業力向上や、家庭での自学自習の習慣化の定着が挙げられます。
来年度も、「確かな学力」の定着に向けて、校内研修の充実や教材研究の時間確保を図っていきたいと考えています。

- ② 子どもは人の話をしっかり聞いている。
(保護者)
授業中人、の話をしっかり聞いている。
(児童)
子どもたちはしっかり話を聞き、
意欲的に学習に取り組んでいる。(教職員)



前期と比べて、保護者の評価が上がっていますが、児童と教職員の評価は下がっています。後期については、行事も多く、学習のペースがやや乱れた様子も見られました。来年度は、コロナも一層落ち着きを見せ、行事も従来通りに近づいてくると思います。
そのような中でも、「聴く力」は学習の基礎となる力なので、引き続きしっかりと身に付けていけるようにしていきたいと思っています。

- ③ 子どもは思ったことや考えたことを発表している。人に話している。
(保護者)
自分の思ったことや考えたことを発表している。
(児童)
子どもたちは相手に伝わるように自分の
考えや思いを発表できている。(教職員)

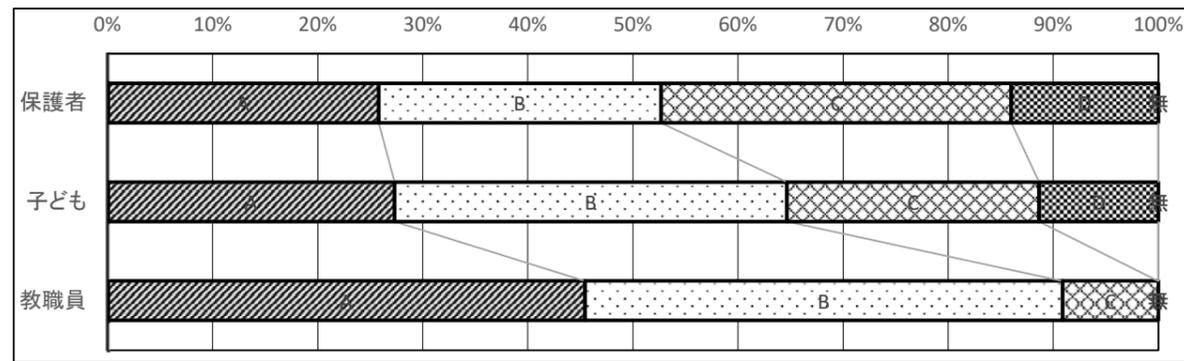


前期と比べて、保護者と児童の評価が上がっています。
ICT の活用で、発言の根拠となる資料は集めたり整理しやすくなったりしています。その根拠をもとに、自分なりの考えを発表できている児童が増えてきています。
今後のプレゼン力につなげていくために、自分の考えを的確にまとめる文章力、それを相手に分かり易く伝えるための表現力の育成にも力を入れていきたいと思っています。

④ 子どもは家で本を読む習慣がある。
(保護者)

家でも読書している。(児童)

おはよう読書や本かばんの活用、毎月のノーテレビ・ノーゲーム・読書デーの取組で、子どもたちは進んで本を読むようになっている。(教職員)

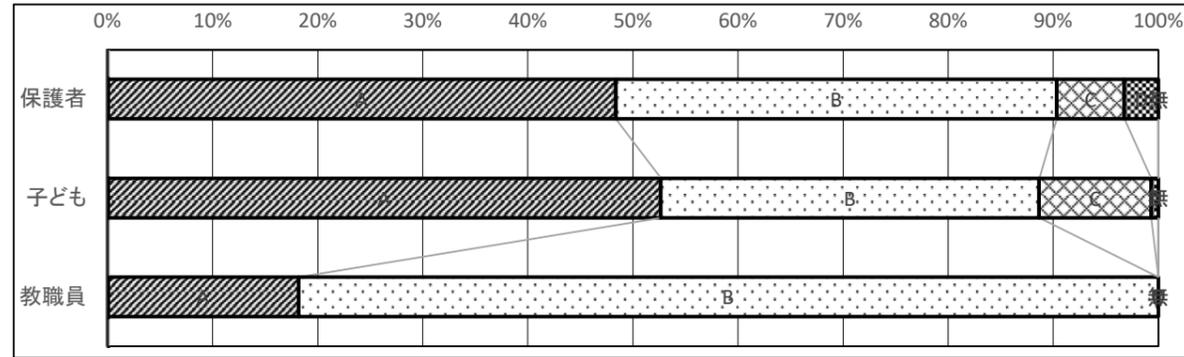


前期と比べて、児童の評価が上がりました。これは、学校での選書会やお話玉手箱、図書委員の取組や積極的な図書館利用など、子どもたちに、本に親しむ場を数多く設定していることが要因の一つだと考えられます。家庭では、なかなか本を読む時間がとりにくいと思いますが、読書の時間が増えると、間接的に、SNS やゲーム、動画視聴の時間が減ります。思考力、想像力、発想力を培う上でも、読書の時間を増やしたいものです。

⑤ 子どもは宿題や復習など家庭学習をしている。(保護者)

家で宿題やおうちで決めた学習をしっかりとしている。(児童)

家で宿題や復習などができている。(教職員)

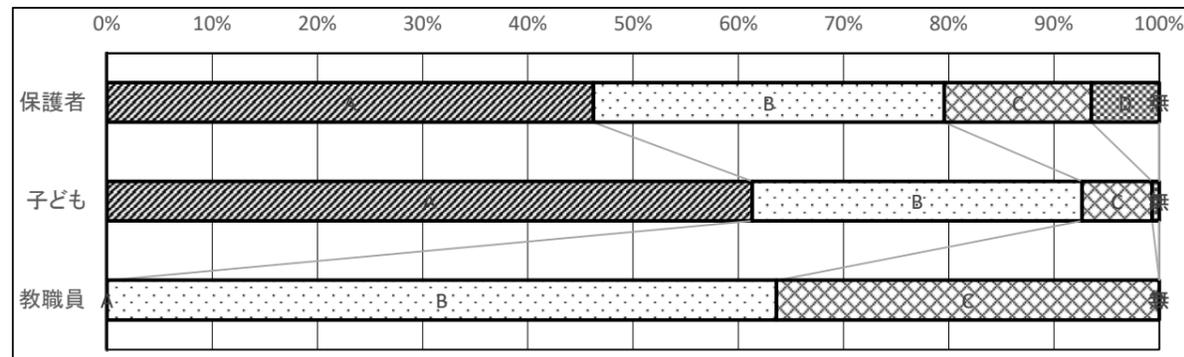


前期と比べて、児童の評価が上がっています。家庭での自学自習の習慣が身についてきた児童が増えてきています。生涯学習の観点からも、家庭での学習習慣の確立は欠かせません。また、家庭学習は、学力の定着を図る上で、とても大きな役割を果たしています。授業時間で行う問題数は限られています。新しい考えを身に付けるためには類似問題をたくさん解くことが必要です。引き続きご家庭でのご協力をお願いいたします。

⑥ 子どもは次の日の学習の準備ができている。(保護者)

次の日の準備をきちんとできている。(児童)

子どもたちは忘れ物をせず、学習の用意ができている。(教職員)

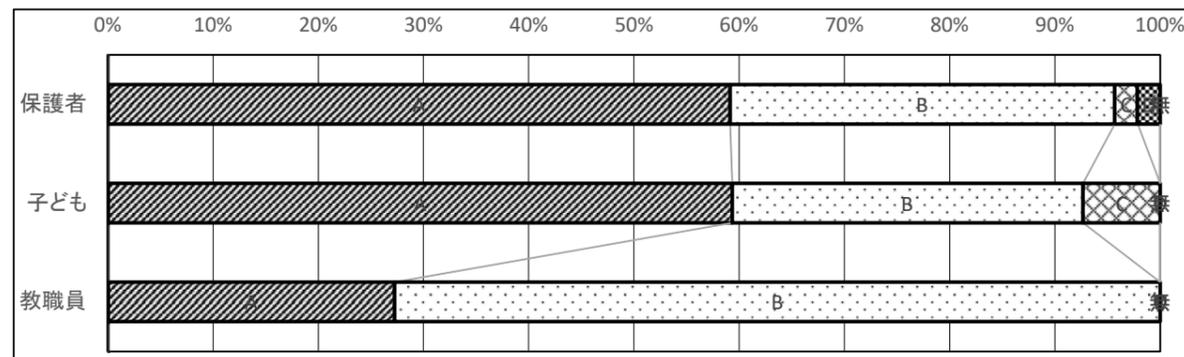


前期と比べると、児童の評価が上がっています。⑤の結果と関連して、次の日の授業の準備の大切さがわかってきていると思います。忘れ物があると、学習に支障をきたします。また、自学自習の観点でも自分で予定表を見て、学習の準備を前日にする習慣を確実に身に付けさせていきたいです。また、教職員の A 評価が少ないことについては、クラスでどうしても少数ではありますが、よく忘れ物をする児童がいます。一人でも、そのような児童がいると A をつけにくい現状があります。

⑦ 子どもは毎日楽しく登校している。(保護者)

毎日の学校生活が楽しい (児童)

子どもたちは、学校や学級を楽しんでいる。(教職員)

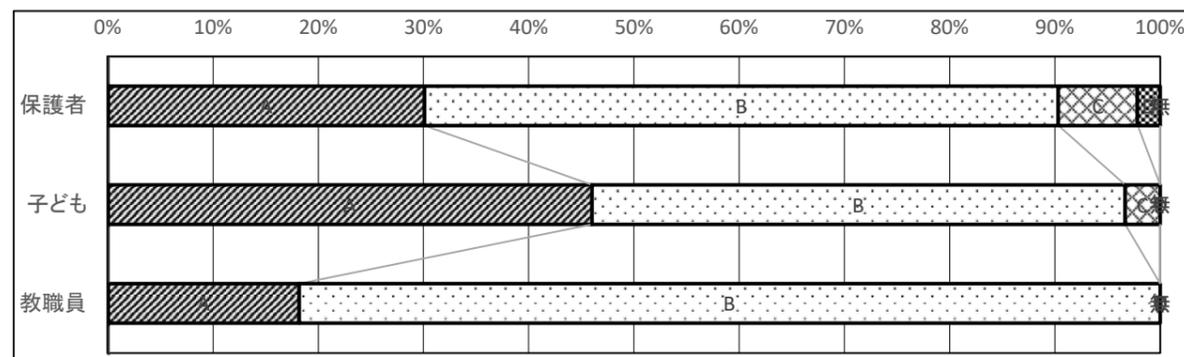


前期と比べると、児童と教職員の評価が上がっています。児童にとって、たくさんの友だちとかかわれる学校生活は、基本的には楽しいものです。また、学びの喜びや行事の達成感など、学校でしか経験できないことがたくさんあります。後期では、子どもたちが楽しみにしている行事が多かったこともありますが、欠席が少なく、学校を楽しみにしている様子が見えました。

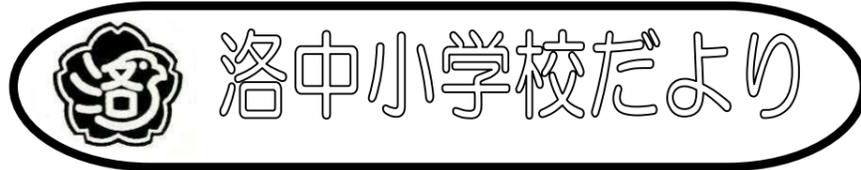
⑧ 子どもは約束や決まり事を守っている。(保護者)

学校や学級のきまりや約束を守っている。(児童)

子どもたちは約束や決まり事を守っている。(教職員)



前期と比べると、児童、保護者、の評価が上がっています。きまりをしっかり守れるところが、洛中の子どもたちのよいところです。ただ、依然として気になるのが、廊下を走る児童がいることです。どうしてもトイレから遠い学級は、仕方がない面もありますが、安全面からも今後も学級指導を定期的に行っていきます。ご家庭でも、お話していただけるとありがたいです。



令和4年度
臨時号②

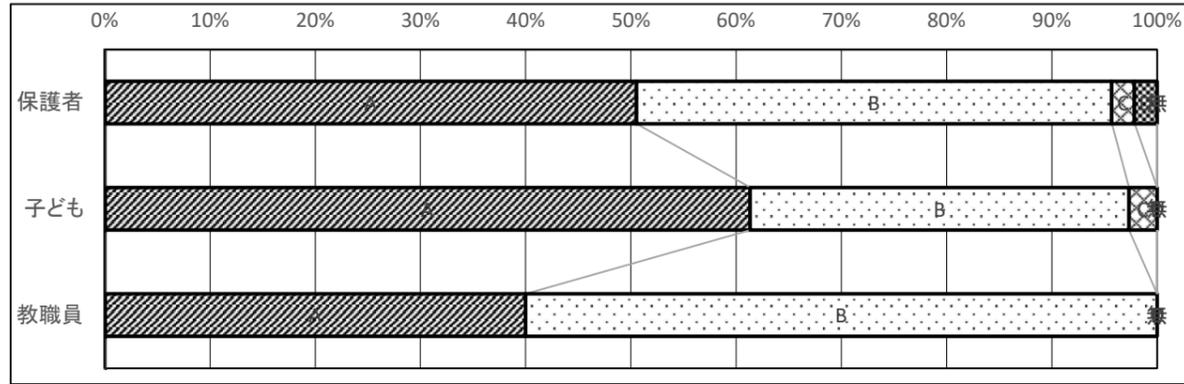
アンケートには、保護者の方々からコメントもいただいております。ありがとうございました。ご意見をお聞かせいただけると、私たちが日常の指導・支援・取組について反省・改善していく契機となります。今後とも、忌憚のないご意見をお聞かせいただけたらと思います。それぞれの内容については、学校の教職員全体に周知して、今後の学校・学級活動の改善に生かしていきます。個別にお応えできる内容については、個別にご連絡いたします。そのためにも、記名でのアンケートに今後ともご協力下さい。よろしくお願いいたします。



⑨ 子どもは友達に優しくできている。
(保護者)

優しい気持ちをもって友達を大切にしている。(児童)

いじめや仲間外れの無い学級作りを重点にした取組ができている。(教職員)

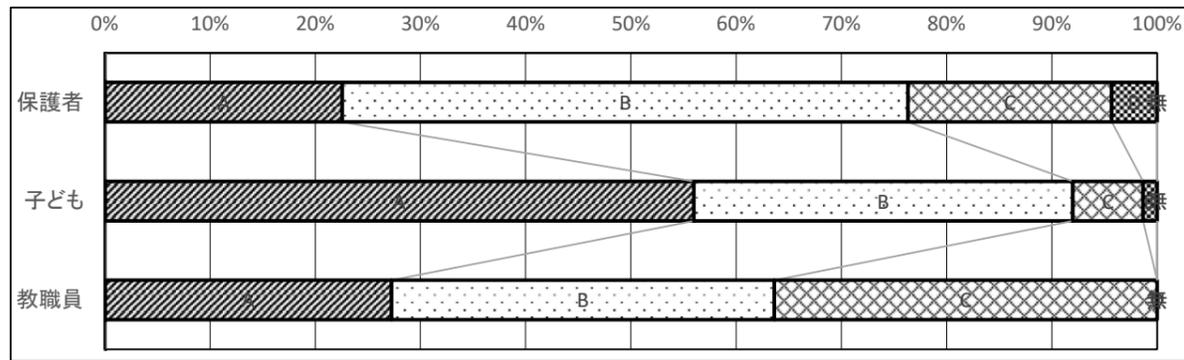


前期と比べると、ほぼ同じ結果です。また、いじめアンケートにおいては前期より良い結果が出ています。アンケートで、困りを抱えている児童にはすぐに担任が個別に話を聞き、早期解決に努めています。今後も、友達の良いところを見つけていくように支援していくとともに、いじめや仲間外れの無いクラス作りを継続していきます。

⑩ 子どもは自分からあいさつができている。
(保護者)

友だち、先生、地域の方に自分からあいさつしている。(児童)

子どもたちは元気にあいさつができるようになってきている。(教職員)

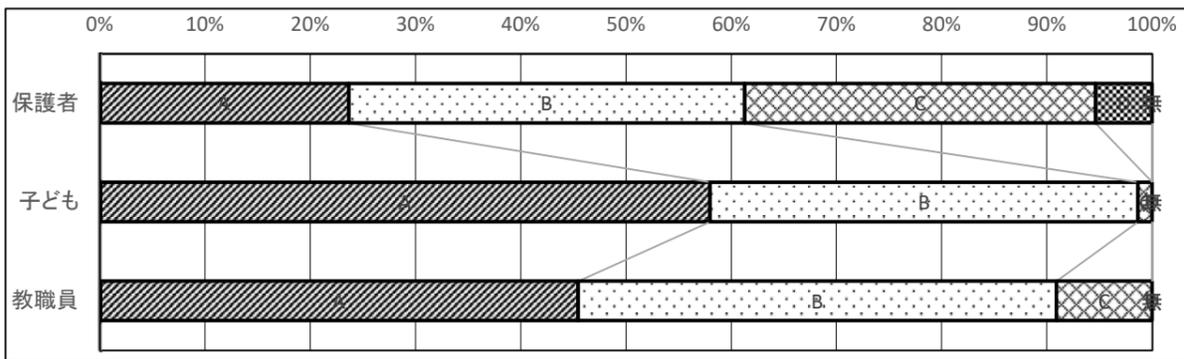


前期と比べると、保護者の評価が下がっています。以前から課題のある項目です。児童の評価と保護者、教職員の評価に差があります。児童は挨拶をしているつもりでも、相手に伝わっていない可能性があります。元気の挨拶はコミュニケーションの基本です。社会人になっても求められる能力の一つです。今後も、周りの大人が手本を示しつつ、継続的に指導をしていきます。

⑪ 子どもはお手伝いや自分の仕事をきちんとできている。(保護者)

掃除、日直などの当番活動や係活動がきちんとできている。(児童)

子どもたちは当番活動や係活動をきちんとしている。(教職員)

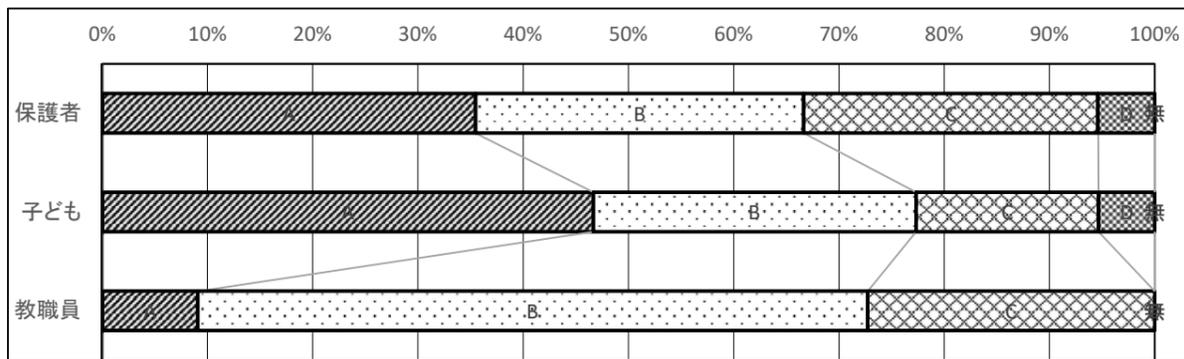


前期と比べると、保護者の評価が上がり、児童と教職員の評価が下がっています。保護者の評価をみると、以前約4分の1の家庭で、あまりお手伝いや自分の仕事をきちんとできていない現状があるようです。後期において学校では、やや、自分に与えられた役割をしっかりと果たせていない様子が見られました。ただ、高学年の委員会活動においては、全校児童が楽しめる取組を積極的に提案している様子が見られました。

⑫ 子どもは、放課後や休みの日に外で進んで体を動かしている。(保護者)

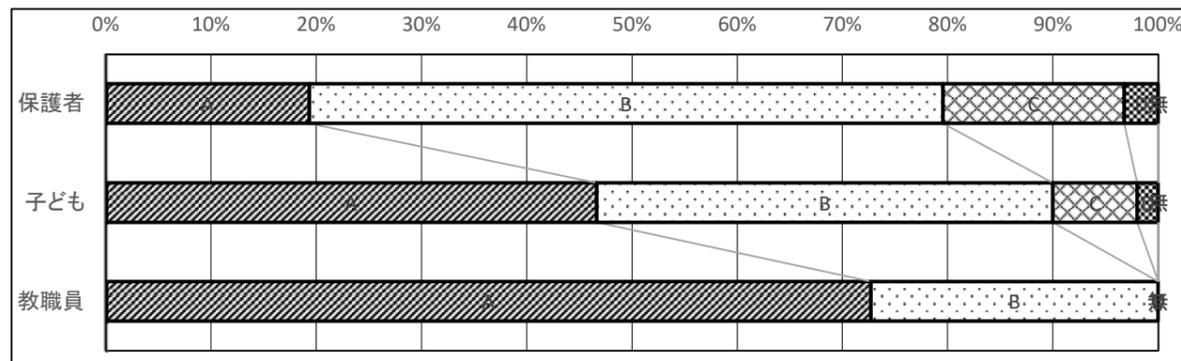
進んで外で体を動かしている。(児童)

体力向上の取組を進めている。(教職員)



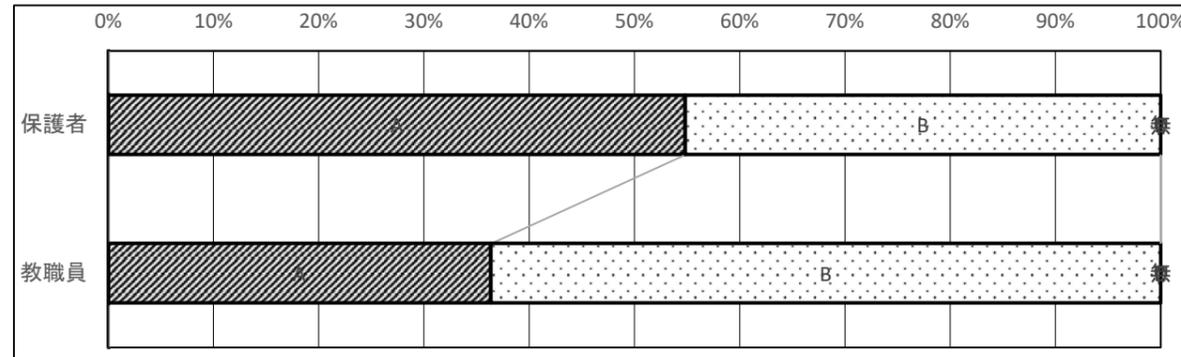
前期と比べると、保護者の評価が上がっています。後期は、スポーツフェスティバルや洛中フェスティバルなど、学校や地域でも行事があり、外で体を動かす機会がありました。また、新体力テストの反省を踏まえて、体育の授業で、準備運動で走る機会を作ったり、学級のみんな遊びを充実したりするようにしています。

- ⑬ 子どもは好き嫌いなく食事を楽しんでいる。
（保護者）
好き嫌いなく楽しく食事をしている。（児童）
給食についての指導が計画的にできている。
（教職員）



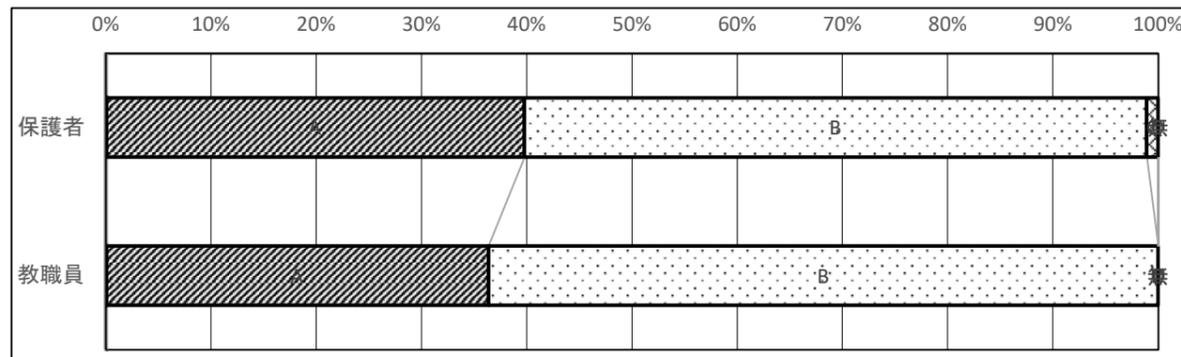
前期と比べると、保護者の評価が上がっています。
給食では、安心・安全に給食を喫食できるように、給食の衛生に気をつけた、給食指導・食の指導を行ってきました。カレンダーを活用し給食や食に関する学びを深められるように工夫してきました。食の学習では、児童の実態から食生活に結びつく学習を行ってきました。また、夏休みや冬休みの宿題をみると、ご家庭でも丁寧に食に向き合う様子が見て取れます。

- ⑭ 教職員は保護者の話によく耳を傾けてくれる。
（保護者）
子ども・保護者の思いや願いを受けとめ、
気軽に相談ができるようにしている。（教職員）



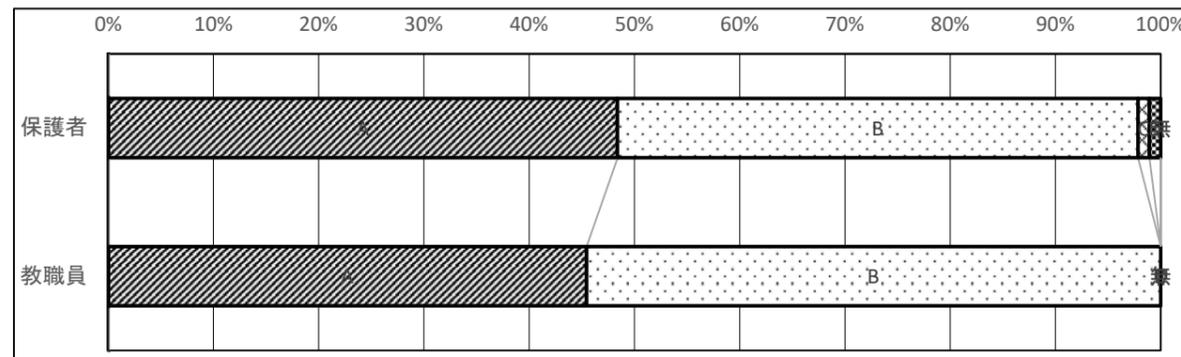
前期と比べると、ほぼ同じ結果です。
まだまだ、お電話や連絡帳を通じての対応が中心ですが、子どもたちの日常の様子など丁寧にお伝えするように心がけたいと考えています。
今後も、子どもたちの良いところを伸ばし、気になることを共有するためにも、気にかかることがございましたら、ぜひご相談くださいますようお願いいたします。

- ⑮ 学校はあたたかい思いやりのある心を
育てる活動に取り組んでいる。（保護者）
子どもたちに思いやりのあるやさしい心が
育ち、実践力が身に付いてきている。（教職員）



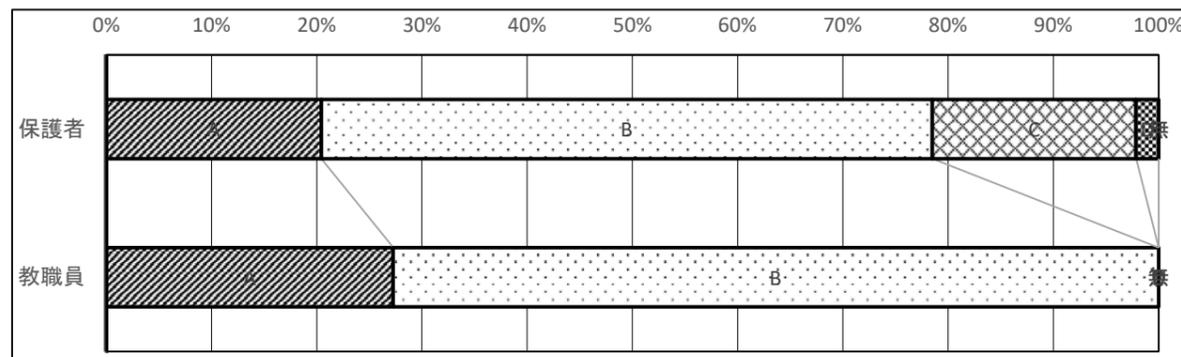
前期と比べると、ほぼ同じ結果です。⑨でも触れましたが、いじめアンケートの結果もよくなってきています。学校全体が落ち着いた雰囲気にあるので、子どもたちの本来の心のやさしさが、安心して表に出やすい状態になっていると思います。
次の課題は、「実践力」です。多くの児童がやさしい気持ちを持っているのですが、その行動に物足りなさを感じる場面もあります。今後も、子ども一人一人の様子をよく観察し、タイミングの良い声かけ等を行い、実践力を伴う思いやりのある優しい心を育てていきます

- ⑯ 学校の取組が学校だより、学級だより、
ホームページなどでよくわかる。（保護者）
学校情報の発信ができている。（教職員）



前期と比べると、ほぼ同じ結果です。
ホームページについては、どの学年も毎週1回以上は更新するようにしています。学年によっては、1日複数回更新しています。
今後も、行事や日常の授業の様子など、より一層伝えていきたいと考えています。お気づきの点はぜひお知らせください。

- ⑰ 学校行事やPTA行事等に参加するよう
している。（保護者）
様々な取組や行事を通して、学校・家庭・
地域が連携し、子どもの教育にあたっている。
（教職員）



前期と比べると、ほぼ同じ結果です。
後期は、交通安全協議会主催のサイクリングや、PTA主催の洛中フェスティバルなど、コロナ禍で制約がある中にもかかわらず、子どもたちのために楽しい行事を実施していただきました。
来年度は、従来の地域行事も再開される可能性があります。ぜひ、積極的に参加していただき、地域の方との結びつきを深めていただければと思います。